

平成22年度 第一回VUV・SX高輝度光源利用者懇談会幹事会議事録

日時：平成22年6月16日（水）13：30～15：30

会場：東京大学物性研究所 6階 第2会議室

出席者：辛埴(会長、東大物性研) 雨宮健太(KEK) 雨宮慶幸(東大新領域) 尾嶋正治(東大)
小野寛太(KEK) 木村真一(分子研) 組頭広志(東大) 近藤寛(慶応大) 吉信淳(東大物性研)
オブザーバー：柿崎明人(東大物性研) 中村典雄(東大物性研) 松田巖(東大物性研)

配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 平成22～23年度 会長・幹事選挙結果報告書
- ・ 平成21年度会計報告書
- ・ 平成21年度第一回幹事会議事録（案）
- ・ 退会者リスト
- ・ 平成22年度賛助会員リスト
- ・ ISSPワークショップ「真空紫外アンジュレータビームラインの高度化と物性科学」
（2009.12.18 開催）冊子
- ・ 学術の大型施設計画・大規模研究計画－企画・推進策の在り方とマスタープラン策
定について－

報告・議事

- ・ 議事に先立ち、辛埴会長より会長就任の挨拶が行われた。
また、当懇談会の新体制とその目的・幹事人員変更の経緯等が述べられた。
- ・ 平成22、23年度 会長・幹事選挙について
柿崎明人選挙管理委員（東大物性研）より、平成22、23年度の会長・幹事選挙結果
について報告され、承認された。
- ・ 委員長選出
平成22、23年度の各委員長が辛会長より推薦され、承認された。
計画委員長 雨宮健太（KEK）
会計委員長 木村真一（分子研 UVSOR）
庶務委員長 組頭広志（東大院工）
編集委員長 奥田太一（広大放射光）
会計監事 吉信 淳（東大物性研）

- 平成21年度会計報告
木村真一前会計監事より平成21年度の会計報告が行われ、承認された。

- 平成 21 年度第一回幹事会議事録承認
一部修正後、承認された。

- 平成 21 年度活動報告
 1. 放射光連携研究機構の現状
尾嶋正治放射光連携研究機構長より、機構の運営体制、人員、今後の予定と重点分野等の説明が行われた。

 2. SPring-8 東大アウトステーションの現状
松田巖播磨分室准教授より、アウトステーションビームライン BL07LSU が昨年 10 月の開所式以来順調に研究が進んでいることが報告され、4 つの先端分光用実験ステーションでの実験内容の詳細と今後の予定等の説明が行われた。

 3. 物性研つくば分室の現状
柿崎明人施設長より、つくば分室の BL19 リボルバーアンジュレータビームラインの現状と今後の PF との協力体制等が説明された。また、昨年、BL18A および BL19A、B のリノベーションについて議論することを目的として ISSP ワークショップが開催され、多くの参加者により活発な議論がなされたことが報告された。(2009 年 12 月 18 日開催)

- 退会者について
当会の運営目的の変更後申し出のあった 28 名の退会者について承認された。

- 今後の活動方針
 - 前幹事会より議論されている全国組織の部会の結成については、引き続き模索・検討を行う。
 - SPring-8 ビームラインの研究成果発表会を物性研究所短期研究会として今年度中に行う予定である。
 - ニュースレターNo. 18 を今秋発行予定とする。

(議事録 事務局)